

大人の自閉スペクトラム障害(ASD) ～神経多様性の観点から～



<https://kado2006.sakura.ne.jp>

ペンショナー児童精神科医

a.k.a Doctor-PECS

門 眞一郎

障害のある人の権利に関する条約(国連)

(障害者権利条約)

- 2006年、国連総会で採択
- 2011年、障害者虐待防止法（'12年施行）
- 2011年、**障害者基本法改正（'13年施行）**
- 2012年、障害者総合支援法成立（'13年施行）
- 2013年、**障害者差別解消法成立（'16年施行）**
障害者雇用促進法改正（'16年施行）
- 2014年、日本国政府は批准
- 2016年、発達障害者支援法改正施行
- 2024年、**障害者差別解消法改正施行**

障害のある人の権利に関する条約(国連)

前文(部分)

この条約の締約国は、

(a), (b), (c), (d)

機能変異(variation)

(e) 障害(disability)が発展する概念であることを認め、また、**障害が機能障害(impairment)を有する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用[の結果]**であって、これらの者が他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げるものによって生ずることを認め、

(f)~(y)

次の通り協定した。(以下第1条から第50条)

障害者基本法(2011年改正前)

- 障害者:

「身体障害、知的障害又は精神障害（以下「障害」と総称）があるため、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者」

（医学モデル）

障害者基本法(2011年改正)

- 障害者権利条約の関連規定を踏まえて改正。《医学モデル》から《社会モデル》の考え方へ。

- 障害者：

機能変異

機能変異

「身体障害、知的障害又は精神障害（発達障害を含む）
がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者」

- 社会的障壁：

機能変異

「障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のもの」

発達障害者支援法改正(2016)

第二条(定義)

2 この法律において「発達障害者」とは、発達障害がある者であって発達障害及び社会的障壁により日常生活又は社会生活に制限を受けるものをいい、「発達障害児」とは、発達障害者のうち十八歳未満のものをいう。

発達特性

発達特性

	医学モデル (個人モデル)	社会モデル
日常生活・社会生活における制限の原因	個人の機能障害	社会的障壁(環境)による排除(バリアと機能との相互作用)
「障害」の評価	なくすべきもの 克服すべきもの	属性, 多様性, 特性
「障害」への対策	治療, 予防, 保護	平等な社会環境づくり, 差別的対応の禁止, 合理的配慮
障害者問題とは	狭義の福祉の問題	人権問題

崔 栄繁:障害の社会モデル(DPI日本会議編:障害者が街を歩けば差別に当たる?!, 2017, 現代書館, p.61)を一部改変

文部科学省(2022). 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査

- 学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合が、2012の調査では推定値 **6.5%**であったが、今回の調査では推定値 **8.8%**
- これは医学モデル(個人モデル)での調査結果。
- 社会モデルで考えると、教師の対応の不十分さや不適切さ(社会的障壁)が増大しているということではないか？

Autism Spectrum Disorderの訳語

- 自閉（症）スペクトラム障害（文字通り訳せば）
- 自閉スペクトラム症（日本精神神経学会訳）

独特の発達特性はあるが、障害レベルではない場合を

- 非障害性自閉症スペクトラム(本田,2013)
- 自閉スペクトラム(門,2013) ⇔ 自閉スペクトラム障害
- 自閉スペクトラム(本田,2017) ⇔ 自閉スペクトラム症

Autism Spectrum Disorder

自閉スペクトラム症

- Chat GPTによると、「《症》という字は、ある病気や障害を指すときによく使われますが、英語の《Disorder》と完全に対応するわけではありません。英語の《Disorder》は、ある種の異常や乱れを指す広範な意味を持ちますが、必ずしも「症」という日本語の表現に一意に対応するわけではありません」とのこと。
- 熱中症も症。症は病気をイメージする。

自閉スペクトラム(障害)

- 私は、「自閉スペクトラム(状態)」と「自閉スペクトラム障害」とを分けて考える。
- 発達障害の中でも、その特性の理解と支援が、多数派の人たちには難しい。

自閉スペクトラム(障害)

Autism Spectrum (Disorder) (ASD)

- 生まれつき脳機能のタイプが一般人 (多数派) とは違う。神経多様性 (neurodiversity)。
- Disorder (障害) と考えるより Difference (差異) と考える。
- 脳の情報処理の仕方, つまり物事を感じ方や理解の仕方が一般人 (多数派) とは違う。
- 利き手の違いも脳機能のタイプの違い。
- 左利き: どの民族でも約10%と言われている (正確な調査結果はないらしい)。

自閉スペクトラム(障害)

Autism Spectrum (Disorder) (AS(D))

- 発達に著しいメリハリ(減り張り)がある。
- 「障害」とは、多数派主導の社会で、継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態。→ASDisorder
- 「障害」は、メリハリと環境(社会的障壁)との関係の中に生じる事態。
 - 「社会的障壁」とは、メリハリがある者にとって、多数派主導社会で、日常生活または社会生活を営む上で障壁となるような、社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のもの。

自閉スペクトラムのメリハリ（特性）

減り（メリ）

- 言葉を耳で聞いて正確に理解することは苦手
- 言葉で表出することは苦手
- 抽象的であいまいなことの理解は苦手
- 経験していないことを想像するのは苦手
- 字義通りに解釈する。柔軟性に欠ける。屁理屈をこねる。
- 全体をまとめることは苦手
- 興味の幅が狭い
- 応用や手抜きは苦手
- 感覚：過敏, 鈍感

張り（ハリ）

- 目で見えて理解することは得意
- 視覚的手段なら表出しやすい
- 具体的で明確なことの理解は良好
- 経験したことを記憶することは得意
- 論理性や正確さを重視する

- 部分に注目することは得意
- 興味あることには集中する
- 習得したことは律儀に実行
- 才能になることもある

自閉スペクトラム(AS)の人の 最も重要なメリハリ

- メリ:言葉だけでは、正確な意味と見通し(=場面の構造)の理解が困難。言葉での意思の表出が困難。
- ハリ:視覚的な手がかりがあれば、意味や見通しを理解しやすい。視覚的な手段でなら意思を表出しやすい(相対的に視覚優位)。
- メリを責めず、ハリを活かして支援する(社会的障壁の除去)。
- **必然的に視覚的支援**ということになる。
- 支援の場はコミュニケーションの場。あらゆる支援の基礎として、コミュニケーション支援が必須。

神経多様性 (Neurodiversity)

- ニューロダイバーシティ (Neurodiversity) とは、脳や神経系の多様性を尊重し、人間の認知や行動、思考スタイルの違いを自然で価値あるものとして捉える考え方。
- 神経の構造や機能に基づく違い (バリエーション) が、自閉症など発達障害の形で現れることがあるが、これは「異常」や「欠陥」ではなく、人間の多様な特性の一部である。
- 「どのような組み合わせでも、極端なものは《精神医学的逸脱》とみなされるようになる。どこで障害disorderが始まるかは、すべて社会的慣習による。」 (Milton, 1999)。

医学的診断基準の問題点

(Attwood, T.)

- 障害や問題点, 不得手, メリ(減り)だけを取り上げるべきではない。
- 得手, 高い能力, ハリ(張り)にも注目すべき。
 - 特別な興味の対象, 得意科目に関するの賞や資格など
 - 優れた才能, 特技 (e.g. 写真のような細密画, 視覚的記憶)
 - 性格 (やさしい, 正義感, 遵法精神, 真面目)

診断と発見

- ネガティブ（否定的）な特性（メリ）に注目
→ 病気や障害の診断（diagnosis）
- ポジティブ（肯定的）な特性（ハリ）に注目
→ 才能の発見（discovery）

AttwoodとGrayによるAutism(自閉)の発見基準(2013)

A. 人とのやり取りにおける質的優位性、以下の項目の過半数によって示される:

- (1) 絶対的な忠誠心と非の打ちどころのない信頼性を特徴とする仲間関係。
- (2) 性差別的、「年齢差別的」、文化主義的な偏見がなく、他者を《額面通りの価値》で見ることができる。
- (3) 社会的背景や個人的信条に固執することなく、自分の考えを話すことができる。
- (4) 相反する証拠があっても、個人的な理論や観点を追求する能力
- (5) ユニークな関心や話題に熱中し、細部を考慮し、他の人には主要な関心事ではないかもしれない話題について時間をかけて議論することができる聴衆や友人を求める。
- (6) 常に判断したり決めつけたりすることなく、耳を傾けること。
- (7) 主に会話への重要な貢献に関心があり、「儀礼的な世間話」や社交辞令的な発言、表面的な会話を避けたい。
- (8) 控えめなユーモアのセンスを持つ、誠実で前向きな本物の友人を求めている。

AttwoodとGrayによるAutism(自閉)の発見基準(2013)

B. 以下のうち少なくとも3つを特徴とする社会的言語であるautismに堪能である:

- (1) 真実を追求する決意
- (2) 隠された意味や意図のない会話
- (3) 高度な語彙力と言葉への興味
- (4) ダジャレなど、言葉を使ったユーモアに魅了される。
- (5) 絵画的比喩(pictorial metaphor)の高度な使用

AttwoodとGrayによるAutism(自閉)の発見基準(2013)

C.以下のうち少なくとも4つを特徴とする認知能力:

- (1) 細部への強いこだわり
- (2) 問題解決において独創的で、しばしばユニークな視点を持つ。
- (3) 他人から忘れられたり無視されたりしがちな細部、例えば名前、日付、スケジュール、日課などについての卓越した記憶力および／または想起力。
- (4) 興味のあるトピックに関する情報を収集し、分類する際の熱心な忍耐力
- (5) 永続的な思考
- (6) 百科事典的、あるいはデジタル的な、1つまたは複数の話題に関する知識
- (7) ルーティンに関する知識と、秩序、一貫性、正確さを維持しようとする集中的な欲求
- (8) 政治的・経済的要因に左右されない明確な価値観・意思決定

AttwoodとGrayによるAutism(自閉)の発見基準(2013)

D.その他の特徴

- (1) 特定の感覚体験や刺激(例:聴覚、触覚、視覚、嗅覚)に対する鋭敏さ。
- (2) 個人競技のスポーツやゲーム、特にボート漕ぎ、水泳、ボーリング、チェスなど、持久力、視覚的正確さ、知性が関係するスポーツやゲームに強い。
- (3) 信頼できる楽観主義を持つ "社交的な縁の下のカ持ち": 社会的弱点や他人の偏見の犠牲となることが多いが、真の友情の可能性を信じて揺るがない。
- (4) 高校卒業後、大学に進学する確率が一般より高い。
- (5) 典型的な発達範囲外で他人の面倒を見ることが多い。

私たちは人類の進化の次の段階を発見したのかもしれない。

(<https://tonyattwood.com.au/the-discovery-of-autism-by-attwood-gray-jan-2013/>)

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

A. いくつかの場面で、人とのコミュニケーションや人とのやりとりにメリがあり、それが続いている。すなわち、以下のことが現在明らかか、過去に明らかであった。

A. いくつかの場面で、人とのコミュニケーションや人とのやりとりにハリがあり、それが続いている。すなわち、以下のことが現在明らかか、過去に明らかであった。

ASの発見基準 (DSM-5準拠)

門 眞一郎 (2014)

左欄はDSM-5診断基準

右欄はハリの発見基準

A1. 対人感情面での相互性にメリがある。例えば、人に対して普通とは違う接近の仕方をする、会話で普通にやりとりすることができない、興味や感情や気持ちを共にすることが少ない、人とのやりとりを自分から始めたり相手に応じたりすることができないなど。

A1. 人の感情に流されたり溺れたりしない。人が興味を持っているからとか、流行っているからとかいうことには頓着しない。相手に嫌われるからと心配して、正しい言動を控えることをしない。

ASの発見基準 (DSM-5準拠)

門 眞一郎 (2014)

A2. 言葉以外のコミュニケーション行動で人とやりとりすることにメリがある。例えば、言葉と言葉以外のコミュニケーションとがうまく統合されていない、アイコンタクトと身体言語が普通ではない、身振りの理解と使用にメリがある、顔の表情や言葉以外のコミュニケーションが全く欠如しているなど。

A2. 表情や態度に感情を短絡的に出さない。ポーカーフェイスが得意。

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

A3. 対人関係を築き、維持し、理解することにメリがある。例えば、様々な対人状況に応じて行動を調整することが難しい、想像的な遊びを他者と共にすることや友だちを作ることが難しい、友だちに関心がないなど。

A3. 友人がいないと淋しいという情けないところがない。連帯を求めても孤立を恐れない。徒党を組むよりも孤高を保つことを好む。

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

B. 行動や興味、活動のパターンが制約され反復的である。すなわち、以下のうち少なくとも2つが現在明らかか、あるいは過去に明らかであった。

B. 行動や興味、活動のパターンにハリがある。すなわち、以下のうち少なくとも2つが現在明らかか、あるいは過去に明らかであった

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

B1. 常同的または反復的な、動作や、物の使い方、発話 (例: 単純な常同動作、おもちゃを一系列に並べること、物を弾くこと、反響言語、特異な言葉使い)

B1. 同じことの繰り返しに飽きない。持続性に富み、粘り強い。

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

B2. 同じ状態を頑なに保ちたがったり、ルーティンに頑なにこだわったり、音声言語的、非音声言語的な行動パターンが儀式的であったりする (例: わずかな変化にも極度の苦痛、場面や活動の移行が困難、思考パターンが杓子定規、あいさつが儀式的、毎日同じ道順に固執、毎日同じ食べ物の要求)

B2. 同じ手順での作業が得意。同じレベルや質の高さを保つことが得意。手抜きを好まない。完璧さを追求する。微妙な違いにもすぐ気づく。毎日カレーライスでも平気である。

ASの発見基準 (DSM-5準拠)

門 眞一郎 (2014)

B3. 興味関心が著しく狭く執着的で、その強度や対象が普通ではない (例: 一風変わったものに強い愛着を示したり夢中になったりする、興味関心が著しく限局的であったり固執的であったりする)

B3. 狭くても深い興味関心の持ち方である。流行におもねらず、独自性を貫く。他者・世間の評判におもねらない。

ASの発見基準 (DSM-5 準拠)

門 眞一郎 (2014)

B4. 感覚刺激に対して過敏、あるいは鈍感、または環境の感覚的性状についての関心が普通ではない (例: 痛みや熱があっても平気なように見える、特定の音または触感に拒否反応を示す、モノを必要以上に嗅いだり触れたりする、光や動きに見とれる)

B4. 痛みや熱があっても、やるべきことに取り組む。手抜きをしなくなる。絶対音感がある。写真的記憶力。他人が感じない音や臭いに敏感。

NT (定型発達者) の診断基準

(DSM-5逆バージョン) by 門 眞一郎 (2024)

A. いくつかの場面で、人とのコミュニケーションや人とのやりとりにより(欠陥)があり、それが続いている。すなわち、以下のことが現在明らかか、過去に明らかであった。

A1. 人の感情に流されたり溺れたりしやすい。人が興味を持っているか、流行っているかが気になって仕方ない。相手に嫌われるのではないかと心配して、正しい言動を控えることがある。同調圧力に屈しやすい。

A2. 表情や態度に感情が出やすい。知らん顔ができない。

A3. 友人がいないと淋しい。一人除け者にされるのが嫌で、仲間とつるみたがる。徒党を組みたがる。赤信号みんなで渡れば怖くない。

NT (定型発達者) の診断基準

(DSM-5逆バージョン) by 門 眞一郎 (2024)

B. 行動や興味、活動のパターンに無頓着で適当である。すなわち、以下のうち少なくとも2つが現在明らかか、あるいは過去に明らかであった。

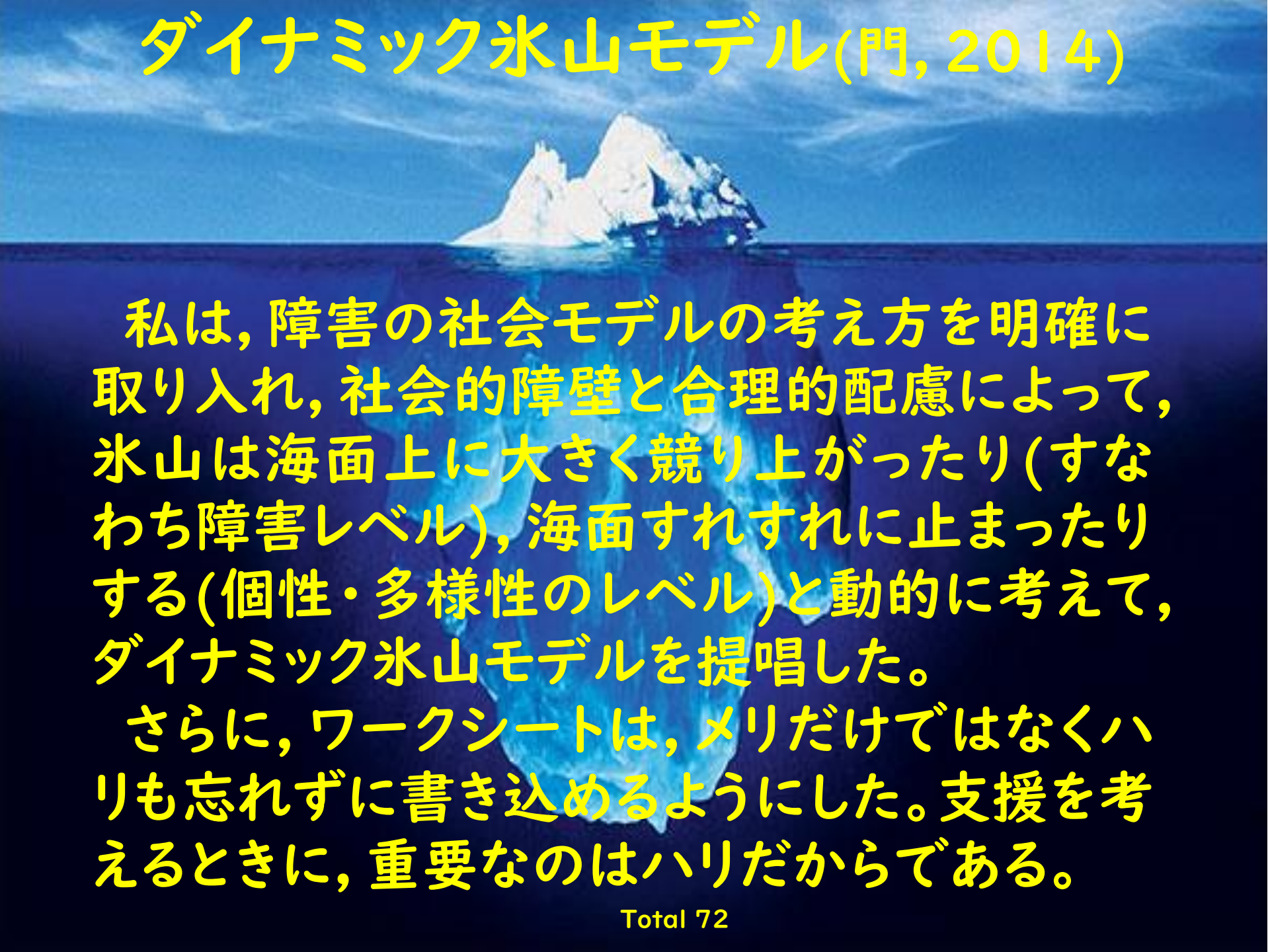
B1. 同じことの繰り返しに飽きやすい。持続性に乏しい。

B2. 同じ手順での反復作業に飽きやすい。同じレベルや質の高さを保つことが苦手。手抜きをしてしまう。完璧さを追求するのは適当で、微妙な違いに気づきにくい。同じものを続けて食べるのはいやである。

B3. 興味関心の持ち方は浅くて広い。流行が気になり、独自性よりもみんなと同じことを好む。他者・世間の評判が気になる。

B4. 感覚刺激が強くて弱くても無頓着である。

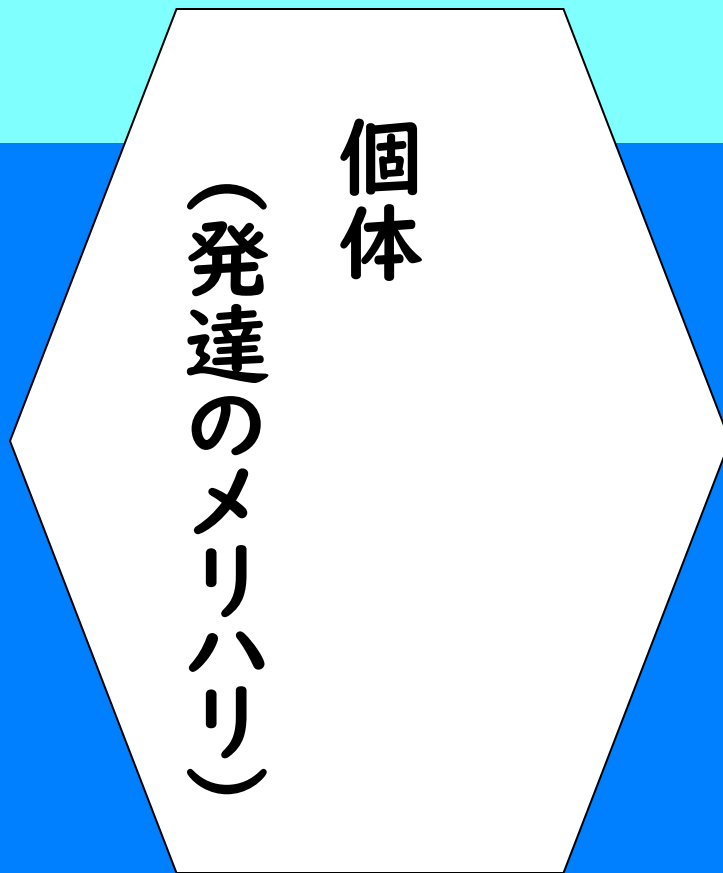
ダイナミック冰山モデル(門, 2014)



私は、障害の社会モデルの考え方を明確に取り入れ、社会的障壁と合理的配慮によって、冰山は海面上に大きく競り上がったり(すなわち障害レベル)、海面すれすれに止まったりする(個性・多様性のレベル)と動的に考えて、ダイナミック冰山モデルを提唱した。

さらに、ワークシートは、メリだけではなくハリも忘れずに書き込めるようにした。支援を考えるときに、重要なのはハリだからである。

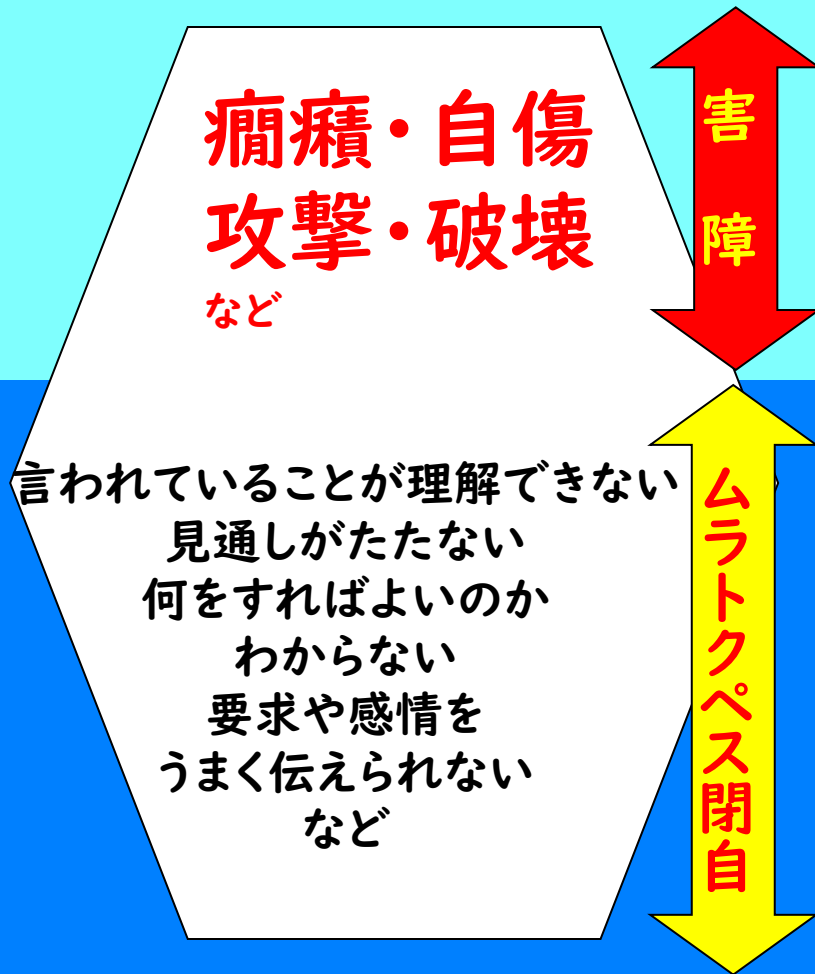
自閉スペクトラム(障害)のダイナミック冰山モデル (2014)



- ・ 《社会モデル》
- ・ 冰山全体が自閉特性(メリハリ)
- ・ 海面上の氷が問題行動化した自閉症特性(メリ)
- ・ 理解の不適切度および支援の不適切度を海水の塩分濃度に譬えると…

無理解・不適切な対応の場合

(自閉スペクトラム障害)



痙攣・自傷
攻撃・破壊
など

言われていることが理解できない
見通しがたたない
何をすればよいのか
わからない
要求や感情を
うまく伝えられない
など

害
障

ムラトク
ペス閉自

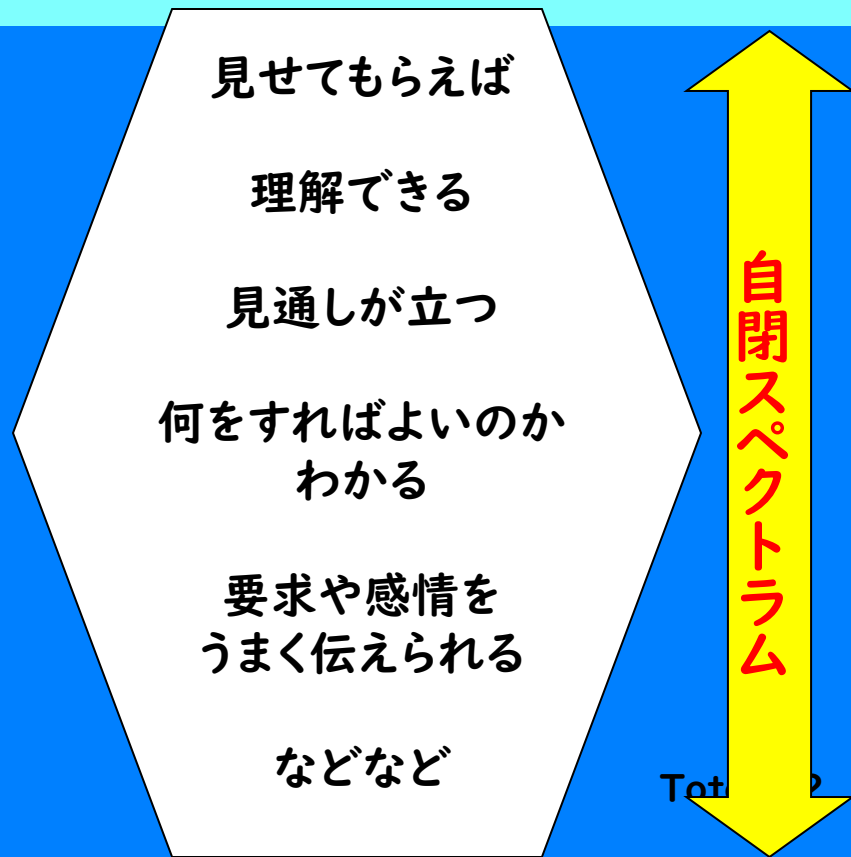
- ・ 理解・支援が不適切ということは(社会的障壁), 海水の塩分濃度が高いということ。
- ・ 塩分濃度が高くなると, 氷山は水面上に顔を出す。
- ・ 問題提起行動が生起, 増悪する。

塩辛い対応
たとえば言葉だけでくどくどと
メリをつく(=社会的障壁)



適切な理解と支援の場合 (自閉スペクトラム)

- ・ メリハリ(特性)や状況因を理解し, 適切な支援方法を見つけることが, 塩分濃度を下げる。
- ・ 塩分濃度が下がれば, 氷山は沈む。
- ・ 問題提起行動は軽減あるいは消失する。



塩辛くない対応
たとえばハリを活かした合理的配慮として
理解/表出コミュニケーションを
視覚的に支援

対応の原則

- 表出コミュニケーションの力をつける（絵や写真や文字の利用，自発的で機能的なコミュニケーション）。
- 何かを伝えるときは，内容を《具体的》にし、表現を《肯定的》にし，《視覚的》な手段で（物、写真、絵、文字などで）伝える。
- 禁止や制止よりも、してよいことや、して欲しいことを具体的に、目に見える形にして伝える。

対応の原則

- 見通しが持てるようにする(生活の流れを一定にする、前もって予定を知らせる、予定を視覚的に伝える)。
- 場面を整理する(物を片付けたり減らしたりして余計な視覚刺激をなくす、活動と場所を一致させる、活動場所の境界をはっきりさせる)。
- 興味のあることや得意なことを大切にする(そこから始める、そこを活かして広げる)。

視覚的な情報は：

- 注意を引きやすく, 注意がそれにくい。
- 情報を素早く簡単に解釈できる。
- 口で伝える情報を明確にできる。
 - 時間, 順序, 因果関係を具体的に伝えることができる。
 - 変更を理解し受け入れやすくなる。
 - 次の活動や場所に移行することが分かりやすくなる。

視覚的支援の必要性

- 知的障害がなく、言葉を流暢に話すことができる、かつては高機能自閉症スペクトラムとかアスペルガー症候群とか言われていた人にも必要です。
- 言語性知能が高いとか、視覚優位ではなく、聴覚優位だと言われてても...
- 当事者は語る...

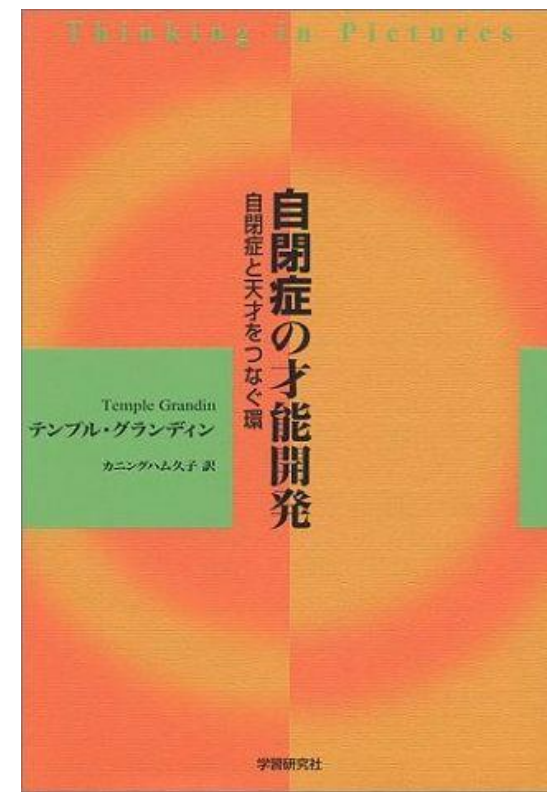
テンプル・グランディン



- 米国人, 1947年生まれ
- 動物行動学博士
- コロラド州立大学教授
- 高機能自閉症

テンプル・グランディン

- 『自閉症の才能開発』（学習研究社）
（T. Grandin: Thinking in Pictures）



- 「私は画像 (picture) で考える。言葉は私にはまるで第2言語のようなもの。私は話された言葉や書かれた言葉を、音声付きのカラー映画に翻訳する。ちょうど頭の中でビデオテープを再生するような感じ。」（拙訳）

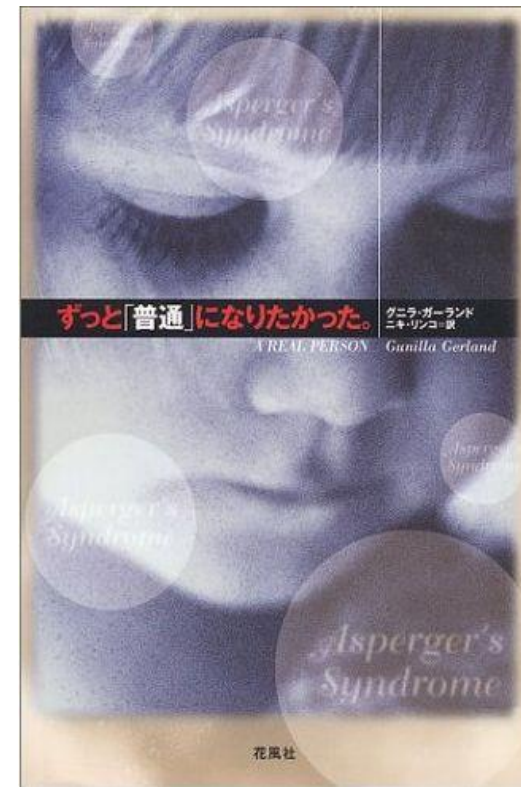
Gunilla Gerland



- スウェーデン人
- 1963年生まれ
- アスペルガー症候群

グニラ・ガーランド

- 『ずっと「普通」になりたかった。』
(花風社)



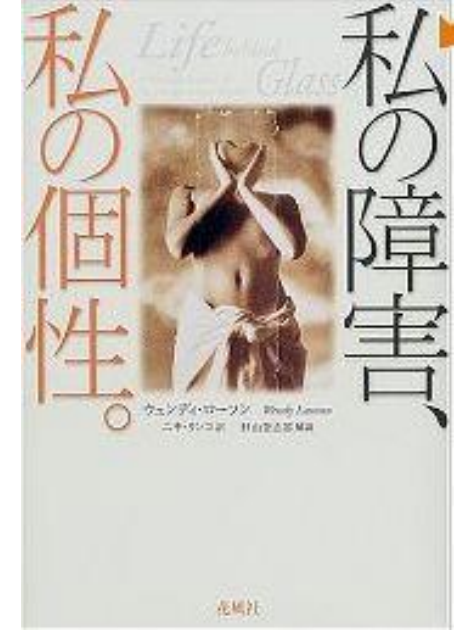
- 「私の場合、言葉で説明を聞いても、頭の中で絵〔画像〕にならなければ、どこかへ飛んで行ってしまふ。あるいは、単に言葉としてだけ意識に残り、“構造の面白さ”や“語感”を味わうだけで終わってしまう。」

Wendy Lawson



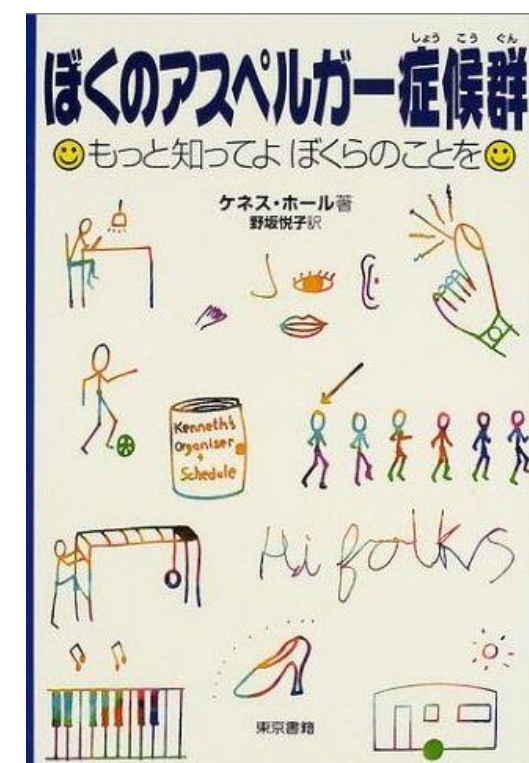
- オーストラリア人
- 心理学博士
- 高機能自閉症

ウェンディ・ローソン



- 『私の障害、私の個性。』（花風社）
 - 「私にとっては、**文字で書かれたことばの方が、口で話されたことばよりもずっとわかりやすい。**音声の会話を消化して、それぞれの単語にくっついている意味を理解しようと思ったら、ページに印刷してあることばを目で追っていくよりもはるかに時間がかかる。」

ケネス・ホール



■ 『ぼくのアスペルガー症候群』 (東京書籍)

- 「ぼくは文字を読むとき、確かに一番よくものを覚える。自分の考えが見えることもある。」
- 「ぼくがふつうじゃないところは、人が話しかけてくると、**しゃべっている言葉が文章になって見えるところ。」**

ニキ・リンコ



- 『自閉っ子、こういう風にできてます!』
 - 「音声言語をいたずらに駆使してただけで、『言葉のつんのめり』だった。意思を通じさせる道具になっていたかどうかは怪しい。」

(中略)
 - 「写真を指差した方がよっぽど用は足せる。言葉があればエラいっていうわけじゃない。用が足せることの方が大事ではないか。」



小道モコ (著)
あたし研究

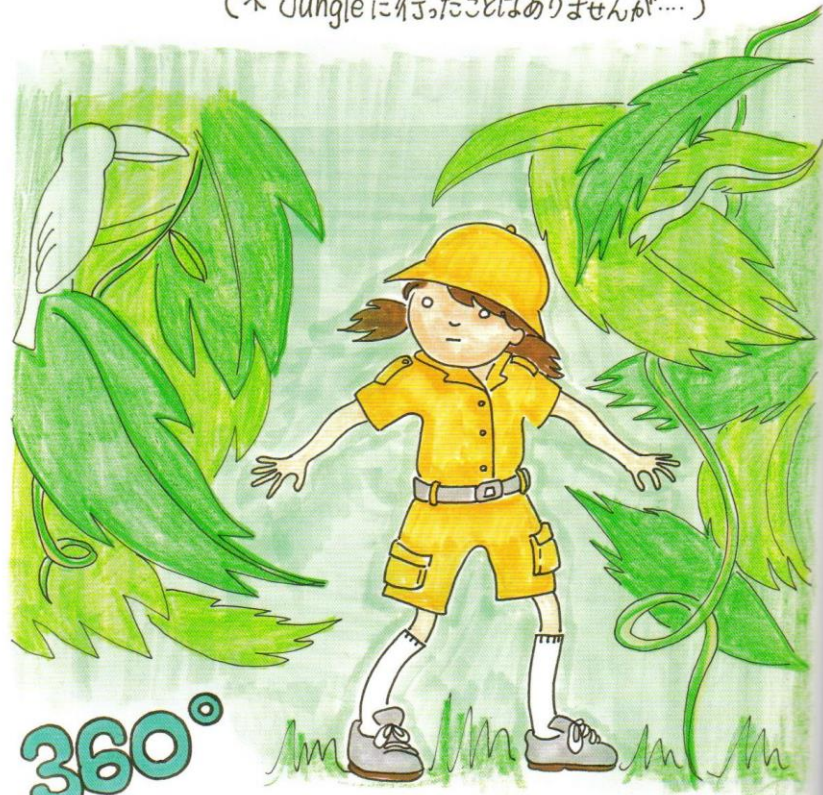
クリエイツかもがわ
¥1,800



学校は Jungle のようでした

あたし目線(解説)その①▶ 97 ページ

(* Jungleに行ったことはありませんが…)



360°

予測不可の恐怖

突然耳に入る 大きな音

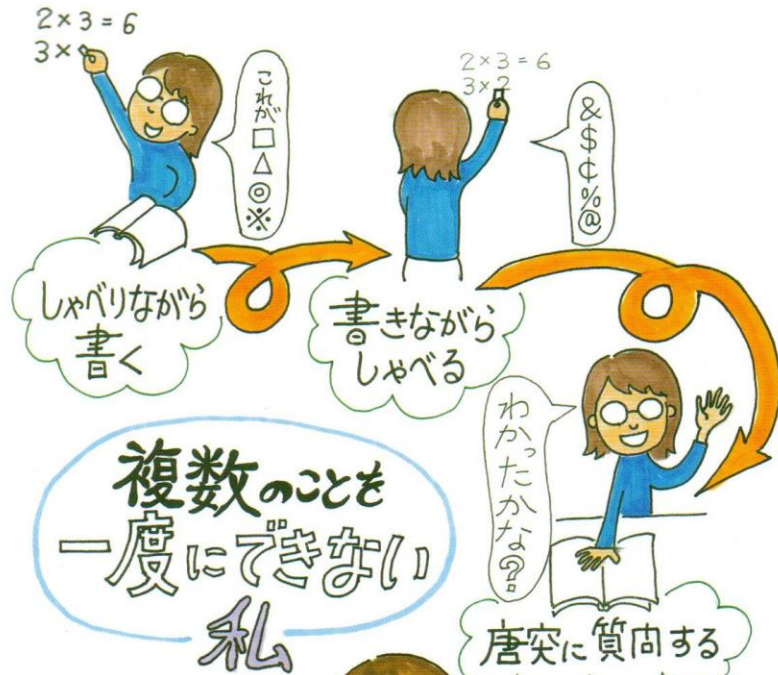


自分に向けられた
言葉じゃなくても
痛みは同じ

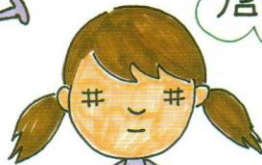


な、なんで怒ってるの？

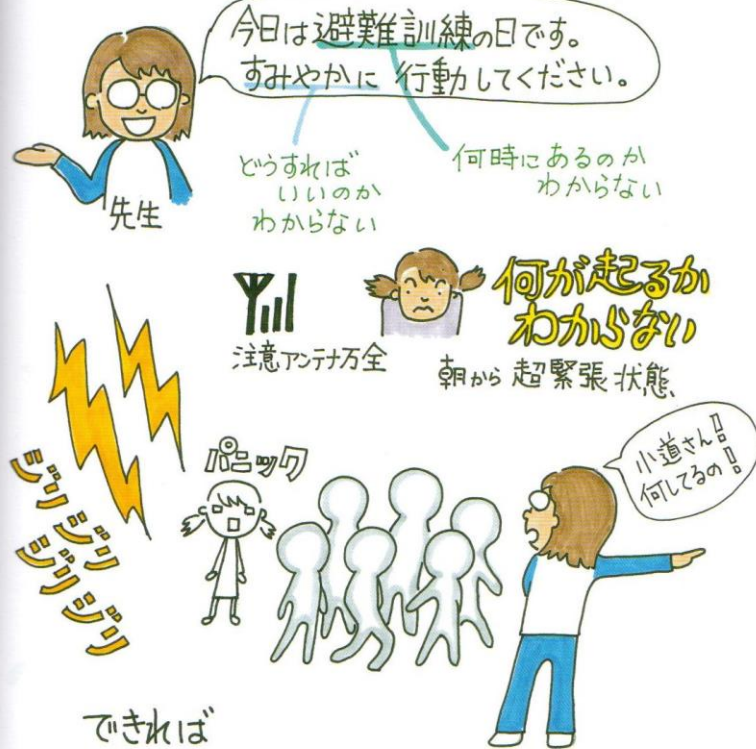
先生は大忙し



いろんなことが
視覚的に
忙しいすぎて



席に着いているのが 米青一杯



できれば
避難訓練の訓練をしたいくらい

口頭での説明は消えてしまう
頭の引き出しに入れようがない

一方、視覚にうたえるものなら

簡単に脳に保管できる



視覚的支援の必要性

- 知的障害がなく、言葉を流暢に話すことができる自閉スペクトラムの人にも必要です。
- それどころか...

情報の約80%は目から入ります。

見る、聴く、嗅ぐ、触る、味わう。
私たちは五感によって世界を知ります。
なかでも目からの情報は、全体の
約80%を占めると言われています。
しかし、私たちはそのことに
ふだん気がつきません。
多くの人が目の大切さに気づき、
より豊かな人生を送ること。
それが私たち、日本眼科学会、
日本眼科医会、そして眼科医療に
携わるものすべての願いです。

誰だって
相対的視覚優位だ。

目を、人生を、大切に。



日本眼科啓発会議

相対的視覚優位について

自閉症スペクトラムにみられる「視覚優位」

精神科治療学, 25(12); 1619-1626, 2010

<https://kado2006.sakura.ne.jp/book1/ASD-visual R.pdf>



自立とは？

「自立生活とは、どんな重度の障害をもっている、介助などの支援を得たうえで、自己選択、自己決定にもとづいて地域で生活することと定義できる。」

(中野正司・上野千鶴子：当事者主権,岩波書店,p.29,2003)

- 構造化などの理解コミュニケーションの支援だけでは、自己選択や自己決定には不十分。
- 自立のためには、表出コミュニケーションの支援も必要。
- 意思決定支援：理解&表出コミュニケーション支援。

自律性の獲得

- 常に誰かに指示(プロンプト)されなくても、ひとりでできるように。
- そのためには、コミュニケーション・スキル(とくに理解面)の向上が必要
- その〈手だて〉:意味と見通しを明確にするための工夫(構造化, 視覚化, 個別化)

自発性の獲得

- 自分の意思や要求を問われなくても自分から伝えられるように。
- そのためには、コミュニケーション・スキル(とくに表出面)の向上が必要。
- その手段: 拡大・代替コミュニケーション(AAC) e.g. 実物呈示, 写真・絵カード, 文字, ICT機器など
- **自発的**表出にはPECS[®](絵カード交換式コミュニケーション・システム)

☆総じて

- コミュニケーションの方法の改良とスキルの向上が重要
- コミュニケーション支援はあらゆる支援の基礎
- 視覚的に補強することを忘れずに!

宮城県「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」

- 合理的配慮に当たり得る意思疎通の配慮の具体例（抜粋）
 - 筆談, 読み上げ, 手話, 点字, 拡大文字などのコミュニケーション手段を用いる。
 - 意思疎通が不得意な障害者に対し, 絵カード等を活用して意思を確認する。
 - 書類記入の依頼時に, 記入方法等を本人の目の前で示したり, 分かりやすい記述で伝達したりする。本人の依頼がある場合には, 代読や代筆といった配慮を行う。
 - 比喩表現等が苦手な障害者に対し, 比喩や暗喩, 二重否定表現などを用いずに具体的に説明する。

- **ダミアン・ミルトンの「二重共感問題」**
 - 「心の理論の欠如」神話
 - 自閉症の人がしばしばNTの認識や文化についての洞察に欠けているのは事実であるが、同様にNTの人にも「自閉症の人」の心や文化についての洞察に欠けている (Milton, 2012)。
 - 多くの自閉症者は、おそらくNT文化の中で生き残り、成功をめざす必要性から、NT社会や風俗についての洞察力を、むしろ逆に高いレベルで獲得していると言える。逆に、NTの人には、何らかの形で対人的に密接な関係がない限り、「自閉症者」の心を理解する個人的な必要性はない。(Milton, 2012)
- **クロンプトンの伝言実験**
- **少数派と多数派とのギャップの橋渡し役でありたい。**

自閉スペクトラム医師宣言

Declaration as a Doctor on the Autism Spectrum (DDAS)

- 私たちは、この宣言を発表する自分自身が自閉スペクトラム（以下AS）の特性を有しており、AS上にいるすべての人々と連帯することを誇りに思います。私たちの目標は、AS上にいる人たちが、適切に理解され、必要な支援を受け、その個性を自由に発揮し、充実した生活を築くことができるようになることです。
- 私たちは、自らの経験を通じて、ASが少数派の単なる特性であり、その特性に対する多数派からの誤解や偏見が、本来の個性や能力を阻害してしまうことを痛感しています。そのために、私たちは自分たちの経験を活かし、AS上にいるすべての人々と連帯し、その声を強く反映させることを約束します。

「自閉スペクトラム医師宣言」の下で、私たちは次の原則に基づき、AS上の人々が自分の個性を自由に生かし、社会において充実した生活を送ることができるよう努めます。

1. 自己開示と共感: 私たちは自らの経験を率直に公言し、ASの人々との共感と理解を深めます。
2. 連帯と協力: AS上のすべての人々と連帯し、共に協力して、適切な支援を提供し、社会の理解を進めます。と同時に、多数派の人たちとの共存と連帯の懸け橋となるよう努めます。
3. 多様性の尊重: AS上の人々の多様性を尊重し、それが豊かな社会の構築の一翼を担っていることを強調します。
4. 公平な機会の確保: AS上の人々が、教育機関や職場などにおいて、公平な機会を享受できるよう、積極的に働きかけます。

この宣言は、AS上の医師たちが、自分たちの経験を踏まえ、連帯を示し、共に歩むことで、より包括的で理解ある社会の実現に尽力するという信念を表明するものです。

2024年5月25日

門 眞一郎 (ペンショナー児童精神科医)

本田 秀夫 (信州大学教授)

内山 登紀夫 (福島学院大学副学長)

青木 省三 (慈圭会精神医学研究所所長)

枝 雅俊 (道立緑ヶ丘病院副院長)

佐野 滋彦 (金沢大学附属病院子どものこころの診療科)

樋端 佑樹 (子どもと大人の精神科医)

田中 究 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長)

山脇 かおり (国立障害者リハビリテーションセンター病院小児科・児童精神科)

原田 謙 (長野県立こころの医療センター駒ヶ根子どものこころ診療センター長)

原田 剛志 (パークサイドこころの発達クリニック理事長)

八木 淳子 (岩手医科大学教授)

参考資料

スライドで紹介したものの他に、

- サットマリ『自閉症・アスペルガー症候群の心の世界を理解するために』（星和書店）
- 本田秀夫『自閉症スペクトラム-10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体』（ソフトバンク新書）
- 青木省三『ぼくらの中の発達障害』（ちくまプリマー新書）
- 児童精神科医 門眞一郎の落書帳
<https://kado2006.sakura.ne.jp/>
- 大人の発達障害ナビ
<https://www.otona-hattatsu-navi.jp/>